



M A D O

真実は、視えますか？



西村まさ彦 大島葉子 二宮芽生 慈五郎 MEGUMI 小林涼子

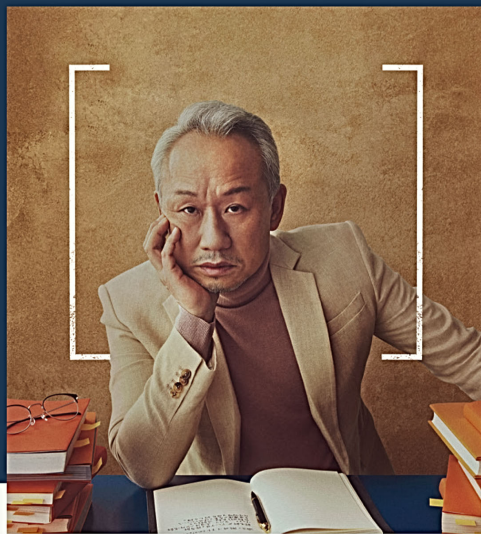
小川美潮 細井学 荻野みかん 関口アナン 山本純嗣 大熊一弘 モロ師岡

監督・脚本：麻王 音楽：板倉文 Ma*To 主題歌：「窓」小川美潮 作詞：工藤順子 作曲：Ma*To

製作・プロデューサー：藤村政樹 (towaie) 撮影：平野哲朗 照明：高橋朋裕 録音：菊池秀人 美術：内藤愛 (VOLTA) 衣裳：五月桃 (Rooster) ヘアメイク：高千沙都 制作担当：東海林純 撮影コーディネーター：佐藤可居
キャスティング：ヤマウチトモカズ 佐野良太 ラインプロデューサー：真山 俊作 助監督：天利 英里子 タイトル・アートディレクション：高木公美子 (ONPHA) HIGUNZ スチール：中村理生 (ONPHA) デザイン：岩田祐一
レタッチ：萩原葉子 (UN.inc) 音響効果：滝野ますみ 監音：菊池秀人 編集：藤村政樹 コンポジット：林剛志 カラーリスト：亀井俊貴 制作・配給・著作：towaie LLC 2022 / 日本 / カラー / 4 : 3 / 82分 ©2022 towaie LLC



とある団地で起きた、タバコによる受動喫煙問題を巡り、4500万円の損害賠償を求めた裁判が行われた。2つの家族が辿り着いた先に見たものとは？



哀しみ・孤独・寂しさ・憂い・葛藤・憤怒・愛……

長年団地に住んでいる私の父が、ある日、4500万円の賠償請求金額で提訴された。訴えたのは、上の階に住んでいる[A家]。父[B夫]のタバコの煙害により、家族が化学物質過敏症になったとして裁判が始まった。

裁判資料として提出された、原告A家・A夫の過去4年間にも渡る日記。日記からは、彼らの壮絶な苦しみや家族の愛、様々な感情が見えてきた。

感情は主観である。そして、主観こそドラマである。

私は、この日記を基に、一方だけに肩入れすることなくドラマを描きたいと思った。この日記を、デッサンしたいと思った。私は、日記をデッサンすることで、他者の認識と、そして自己の認識と向き合いたい、と思った。

果たして、自らの窓は開いているだろうか。自ら窓を開けられる環境にあるだろうか。どこか他人事で、窓を閉ざしていないだろうか。あなたの窓からは、なにが見えるだろうか？

麻王



同じ集合住宅に住むA家とB家。ある日、A家は階下に住むB家からのタバコの煙害によって「化学物質過敏症 / Multiple Chemical Sensitivity (MCS)」を発症したとして、4500万円の損害賠償を求めた実在の裁判「横浜・副流煙裁判」が行われた。本作は、その過程で裁判資料として公に提出された“A家A夫の記した4年に渡る日記”からヒントを得て制作された、事実を基にしたフィクション映画である。監督は麻王。本作は長編デビュー作であり、B家の息子でありながら、両者の関係をフラットな想いで見つめ、原告家族「A家」と、被告「B家」。それぞれの家族を通して、「化学物質過敏症」が引き起こす様々な問題や分断を描く。

2023年11月18日公開

towaie

文化庁

AFF
ARTS for the future

ユーロスペース
EUROSPACE

